

10月はSDGsだ!

県では、毎年10月を「ひょうごSDGs月間」とし、地域や県民、企業、団体などと連携してSDGs関連イベントを開催しています。SDGsの最新の動向や取り組みを知ることができるシンボルイベント「ひょうごSDGsフォーラム」を開催するほか、家庭で余った食品を持ち寄り福祉団体等に寄付する「ひょうごフードドライブ」を県庁舎をはじめ12カ所で開催するなど、多数の事業を展開。この機会にSDGs達成に向けて行動しましょう。(県地域創生課)

📍県地域創生課 ☎078-362-4032 📠078-362-3381

詳しくは
こちら



©尼子騒兵衛

尼子騒兵衛漫画ギャラリー

NHKの最長寿アニメ番組「忍たま乱太郎」の原作「落第忍者乱太郎」の作者で、尼崎市生まれ・在住の尼子騒兵衛さんの漫画を紹介するギャラリー。元小学校の建物を生かし、「忍術学園」をイメージした展示スペースのほか、オリジナルグッズが多数そろった物販コーナー、ファンが交流できるお絵描きコーナーも。出席簿に名前を書けば、「猪名寺乱太郎」などキャラクターの名字になっている市内の地名のガイドマップなどがもらえ、ゆかりの地巡りに役立ちます。

🕒10時～17時(土曜、日曜、祝休日は18時まで)
📍尼崎市開明町2-1-1開明庁舎1階
💎一般200円、中学生以下無料
☎06-6409-4946 📠06-6417-5146



1「キャラクターコースター」(全60種、1枚300円)などのオリジナルグッズがファンに人気。2 エントランス前に並ぶキャラクターののぼり。3 尼子騒兵衛さんが実際に使っていた机。



4「リボンの騎士」のサファイアや、「鉄腕アトム」のアトムなどのキャラクターが迎えてくれます。5「火の鳥(未来編)」に登場する生命維持装置をモチーフにした展示カプセルに、ゆかりの品や作品資料を展示。

「はり姫」をもっと身近に 院長貸し出します

「はり姫」が愛称の「県立はりま姫路総合医療センター」は、重症患者の診療だけでなく、健康診断やがん検診等の二次検査にも対応しており、病気が見つかった場合は引き続き治療もします。「わがまちの病院」として、もっと身近に感じ活用してほしいと、6月から出前講座「院長貸し出します!プロジェクト」をスタートさせました。専門的な医療の話から、普段の健康管理、病院の裏側まで、どのようなニーズにも対応しますので、気軽に連絡してください。(県立はりま姫路総合医療センター 木下芳一院長)

📍開催希望日の約1カ月前までに必要事項を
📞☎📠で同センターへ
〒670-8560姫路市神屋町3-264
☎079-289-5080 📠079-289-2080

詳しくは
こちら



75歳定年のスーパーマーケットで働く人たちに
向けて、「いつまでも元気で働く
ために! - 認知症と転倒を
防ぐ -」をテーマに講演。



県内3カ所が アニメの聖地

詳しくは
こちら

国内外のファン投票を参考に、(一社)アニメツーリズム協会が毎年選定する「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」。県内では、2018(平成30)年版の「宝塚市立手塚治虫記念館」と宝塚市、19年版の「涼宮ハルヒの憂鬱」シリーズと西宮市に続き、最新の26(令和8)年版で「尼子騒兵衛漫画ギャラリー」と尼崎市が選ばれています。推しアニメの舞台を訪れる「聖地巡礼」を楽しみませんか。(取材・文 本紙編集部)

「涼宮ハルヒの憂鬱」シリーズゆかりの地

2000年代のライトノベルブームをけん引したSF学園小説「涼宮ハルヒ」シリーズのテレビアニメ「涼宮ハルヒの憂鬱」の舞台のモデルとなり、原作者、谷川流さんの出身地でもある西宮市。阪急「西宮北口」駅前の「にしきた公園」など、劇中でモデルとなったさまざまなゆかりの地があります。



©2007,2008,2009 谷川 流・いとうのいぢ/SOS団
利用場面 第15話「エンドレスエイトIV」より



「にしきた公園」の時計塔は、ファンの間で「ハルヒ時計」と呼ばれて親しまれています。

宝塚市立手塚治虫記念館

「マンガの神様」といわれる手塚治虫が5歳から24歳まで過ごした宝塚市にある記念館。著作約2,000冊を閲覧できるライブラリー、アニメーションの制作体験ができるアニメ工房などで手塚治虫の世界を堪能できます。同館から徒歩すぐの「宝塚大劇場」と合わせて巡るコースも人気です。

🕒9時30分～17時
※月曜休館(祝休日の場合は開館)
※12月1日☎～2027年3月4日☎臨時休館
📍宝塚市武庫川町7-65
💎一般700円、中学・高校生300円、小学生100円
☎0797-81-2970 📠0797-81-3660

詳しくは
こちら

